

ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)						
ET45H016	障害児心理アセスメント演習(Seminar in Psychological Assessment for Children with Special Educational Needs)					特別支援教育						
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員						
選択	2	1	大学院教育学研究科			氏名 佐藤 晋治 E-mail ssato@oita-u.ac.jp 内線 7531						
授業の概要	読みに困難のある子どもの理解と指導について、知能のPASS理論と DN-CASから学ぶ。											
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)					1 2 3 4 5 6 7 8 9 10						
目標1	読みに困難のある子どもの理解を、知能のPASS理論とDN-CASによって説明することができる。											
目標2	読みに困難のある子どもの指導計画を、知能のPASS理論と DN-CASから立案することができる。											
目標3												
目標4												
目標5												
目標6												
目標7												
目標8												
目標9												
目標10												
授業の内容												
1	読みの得意・不得意											
2	童謡から音韻的符号化へ											
3	読みの発達段階											
4	知能から読みを説明する											
5	読み理解											
6	単語を綴ることと書くこと											
7	理論と実践											
8	COGENTプログラム：読みの準備を始める											
9	COGENTの概要：プログラムのモジュール											
10	COGENTの研究：初期のエビデンス											
11	読みのレディネスはどのようにして働くのか？ COGENTに触れる											
12	PREP: PASSモデルに基づく治療教育プログラム											
13	単語と絵を用いたPREPの実際											
14	実践研究											
15	今後の展望、読みに関する現代的な視点の統合											
ラック ニティ ゲブ	A:知識の定着・確認 B:意見の表現・交換 C:応用志向 D:知識の活用・創造	演習, 小テスト, 小レポート, 予習, 復習, 宿題, 調べ学修(論文, 書籍, インターネット等) プレゼンテーション, 学びの省察, ロールプレイ	工 夫 そ の 他 の	動画の活用, LMS(Moodle)の活用								
時間外学修の内容と時間の目安	準備 Moodleに掲載された講義資料を事前に予習し, 必要に応じて, 論文, 書籍, インターネット等により「調べ学修」に取り組むこと(1週あたり90分)。 事後 講義で学習した内容を振り返り, 講義で扱った内容や関連する課題について論文, 書籍, インターネット等により「調べ学修」に取り組むこと(1週あたり90分)。											
教科書	J.P.ダス(著)前川久男・中山 健・岡崎慎治(訳) 2009/2014 読みに困難がある子どもの理解と指導: 知能のPASS理論とDN-CASから 日本文化科学社 または, J.P.Das 2009 Reading difficulties and dyslexia:An interpretation for teachers. SAGE											
参考書												
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	試験	60%										
	討論への積極的な参加	20%										
	小レポート	20%										
注意事項	前学期「障害児心理アセスメント特論」の授業展開によっては内容等の変更もあり得る。 また, 講義内でMoodleを使用することがあるので, Moodleを閲覧できる媒体(スマホ, タブレット端末, ノートPCなど)を持参すること。また少なくとも週に1度											
備考												
リンク	URL											